

東京労働局・都内ハローワークにおける 人材確保対策の取組

令和4年6月

■ 最近の雇用情勢

【トピックス】

・令和4年4月の有効求人倍率(季節調整値)は1.39倍で前月より0.05ポイント上昇し、8か月連続で前月を上回り、28か月(2年4か月)連続の1倍台となった。月間有効求人数(原数値)は292,052人で、9か月連続で前年同月を上回っている。

最近の雇用失業情勢 (令和3年4月～令和4年4月)

【東京労働局職業安定部】

項目 年月	① 新規求職者数	② 新規求人数	③ 月間有効 求職者数	④ 月間有効 求人数	⑤ 新規求人倍率		⑥ 有効求人倍率		⑦ 就職件数	⑧ 充足数	全 国		南 関 東	
					全 国	東京都	全 国	東京都			⑨完全失業者数	⑩完全失業率	⑪完全失業者数	⑫完全失業率
令和 元年度	35,034 (▲ 3.3)	119,080 (▲ 4.3)	169,505 (▲ 0.2)	347,388 (▲ 4.2)	2.35 (▲ 0.07p)	3.40 (▲ 0.03p)	1.55 (▲ 0.07p)	2.05 (▲ 0.08p)	8,400 (▲ 13.9)	11,440 (▲ 11.8)	163 (▲ 4)	2.3 (▲ 0.1p)	49 (▲ 2)	2.3 (▲ 0.2p)
令和 2年度	35,458 (1.2)	83,530 (▲ 29.9)	192,575 (13.6)	245,395 (▲ 29.4)	1.90 (▲ 0.45p)	2.36 (▲ 1.04p)	1.10 (▲ 0.45p)	1.27 (▲ 0.78p)	5,803 (▲ 30.9)	7,960 (▲ 30.4)	199 (36)	2.9 (0.6p)	63 (14)	3.0 (0.7p)
令和 3年度	36,501 (2.9)	90,436 (8.3)	211,952 (10.1)	258,711 (5.4)	2.08 (0.18p)	2.48 (0.12p)	1.16 (0.06p)	1.22 (▲ 0.05p)	6,091 (5.0)	8,492 (6.7)	191 (▲ 8)	2.8 (▲ 0.1p)	64 (1)	3.0 (0.0p)
令和3年 4月	49,608 (34.7)	82,075 (19.0)	220,850 (30.7)	244,511 (▲ 11.4)	1.90 [▲ 0.07p]	2.27 [▲ 0.06p]	1.09 [▲ 0.01p]	1.16 [▲ 0.01p]	6,992 (45.9)	9,695 (43.9)	211 (21)	2.8 [0.1p]		
5月	32,347 (6.8)	74,022 (4.6)	217,453 (31.1)	236,219 (▲ 0.2)	2.15 [0.25p]	2.57 [0.30p]	1.10 [0.01p]	1.16 [0.00p]	6,268 (109.6)	8,293 (82.5)	213 (14)	2.9 [0.1p]	70 (4)	3.3 (0.1p) (全国 3.0 0.2p)
6月	34,090 (▲ 23.9)	90,091 (▲ 9.4)	212,304 (17.6)	238,502 (2.8)	2.10 [▲ 0.05p]	2.49 [▲ 0.08p]	1.13 [0.03p]	1.17 [0.01p]	6,676 (20.1)	9,183 (21.7)	207 (11)	2.9 [0.0p]		
7月	35,621 (▲ 5.0)	82,091 (6.1)	207,291 (8.5)	237,953 (▲ 0.1)	2.03 [▲ 0.07p]	2.40 [▲ 0.09p]	1.14 [0.01p]	1.20 [0.03p]	5,910 (▲ 4.4)	8,115 (▲ 3.3)	193 (▲ 5)	2.8 [▲ 0.1p]		
8月	35,229 (10.8)	78,226 (4.3)	209,643 (5.3)	240,755 (1.1)	2.00 [▲ 0.03p]	2.23 [▲ 0.17p]	1.15 [0.01p]	1.19 [▲ 0.01p]	5,566 (▲ 2.1)	7,588 (▲ 2.1)	194 (▲ 13)	2.8 [0.0p]	65 (▲ 5)	3.1 (▲ 0.2p) (全国 2.8 ▲0.2p)
9月	35,020 (2.4)	89,997 (▲ 4.7)	211,348 (4.7)	244,129 (2.8)	2.05 [0.05p]	2.42 [0.19p]	1.15 [0.00p]	1.20 [0.01p]	5,807 (0.9)	8,031 (▲ 0.4)	194 (▲ 17)	2.8 [0.0p]		
10月	37,877 (▲ 4.0)	99,109 (11.7)	215,579 (3.7)	257,041 (3.8)	2.03 [▲ 0.02p]	2.51 [0.09p]	1.16 [0.01p]	1.21 [0.01p]	6,038 (▲ 9.6)	8,501 (▲ 7.1)	184 (▲ 33)	2.7 [▲ 0.1p]		
11月	35,469 (14.9)	90,954 (14.2)	214,705 (4.9)	268,567 (7.6)	2.08 [0.05p]	2.43 [▲ 0.08p]	1.17 [0.01p]	1.22 [0.01p]	5,991 (▲ 4.9)	8,329 (▲ 3.0)	183 (▲ 13)	2.8 [0.1p]	60 (▲ 5)	2.8 (▲ 0.3p) (全国 2.6 ▲0.3p)
12月	29,291 (4.9)	95,323 (9.4)	207,475 (5.9)	276,667 (12.2)	2.19 [0.11p]	2.47 [0.04p]	1.17 [0.00p]	1.23 [0.01p]	5,982 (▲ 5.1)	8,389 (▲ 2.0)	173 (▲ 22)	2.7 [▲ 0.1p]		
令和4年 1月	39,102 (9.0)	103,486 (19.8)	208,451 (7.9)	282,649 (15.4)	2.16 [▲ 0.03p]	2.60 [0.13p]	1.20 [0.03p]	1.26 [0.03p]	5,431 (▲ 3.0)	7,447 (2.6)	185 (▲ 14)	2.8 [0.1p]		
2月	34,303 (▲ 2.9)	92,637 (15.9)	206,399 (5.7)	282,843 (15.2)	2.21 [0.05p]	2.77 [0.17p]	1.21 [0.01p]	1.28 [0.02p]	5,905 (▲ 6.6)	8,436 (0.8)	180 (▲ 15)	2.7 [▲ 0.1p]	58 (▲ 1)	2.8 (0.0p) (全国 2.7 ▲0.1p)
3月	40,051 (▲ 1.9)	107,226 (13.3)	211,923 (2.7)	294,691 (17.0)	2.16 [▲ 0.05p]	2.69 [▲ 0.08p]	1.22 [0.01p]	1.34 [0.06p]	6,526 (▲ 12.9)	9,891 (▲ 8.4)	180 (▲ 9)	2.6 [▲ 0.1p]		
4月	47,232 (▲ 4.8)	102,272 (24.6)	219,987 (▲ 0.4)	292,052 (19.4)	2.19 [0.03p]	2.97 [0.28p]	1.23 [0.01p]	1.39 [0.05p]	7,160 (2.4)	9,844 (1.5)	188 (▲ 23)	2.5 [▲ 0.1p]	※	

注 1 ①②③④⑦⑧欄は、東京都の数値で原数値である。また、⑤⑥⑩欄の各月分は季節調整値であり、年度分及び年分は原数値である。

(季節調整値は、センサス局法Ⅱ (X-12-ARIMA)により、毎年1月分の公表に併せて「季節調整値替え」が行われる。)

2 各欄の()内は、前年との比較(増減数・比率)であり、⑤⑥⑩欄の各月分の[]内は、前月との比較(比率)である。

3 新規・有効求人数、新規・有効求職者数、就職件数、充足数及び求人倍率は、学卒を除き、パートタイムを含んだ数値である。

4 ⑪⑫欄は、南関東〔東京、埼玉、千葉、神奈川〕及び全国の年・四半期の数値で原数値である。

5 ⑨～⑫欄の各月・四半期・年・年度の数値については、令和2年国勢調査結果を基準とする新基準で遡及集計した数値である。詳細については総務省統計局「労働力調査」を参照のこと。

6 年度の①②③④及び⑦⑧の数値は、平均値である。

7 ※は公表の翌月に記載。

＜資料出所＞ 総務省統計局「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」

■東京ハローワークの求人・求職の状況（職種別有効求人倍率）

有効求人倍率 の動向

保安、介護、建設、サービス、保育の職業で人手不足問題が恒常化。人手不足職種に若年者層の入職が少ないこともその要因のひとつ。

令和4年4月の職種別常用有効求人倍率（倍） ※括弧内は前年同月の実績値

管理的職業	0.96 (0.95)	保安の職業	10.03 (10.68)
専門的・技術的職業	1.64 (1.45)	生産工程の職業	1.64 (1.31)
建築・土木・測量技術者	5.84 (4.59)	輸送・機械運転の職業	2.27 (2.20)
看護師・准看護師	2.54 (2.43)	建設・採掘の職業	5.00 (4.86)
保育士	2.56 (2.70)	運搬・清掃等の職業	1.15 (0.90)
事務的職業	0.40 (0.32)	建設の職業（注3）	5.37 (4.73)
販売の職業	1.86 (1.49)	介護関係職種（注4）	5.19 (5.10)
サービスの職業	3.48 (2.45)	職業計	1.17 (0.98)

（資料出所）厚生労働省「職業安定業務統計」

（注）1. 4か月未満の臨時的雇用等を除く、常用の求職者（パートタイムを含む）の原数値

2. 有効求人倍率＝有効求人者数÷有効求職申込件数

3. 建設の職業は、建築・土木・測量技術者、建設躯体工事の職業、建設の職業、電気工事の職業、土木の職業

4. 介護関係職種は、ケアマネージャー、ケアワーカー、訪問介護サービス員、ホームヘルパー、福祉施設の生活指導員・就労支援員等

東京労働局・都内ハローワークにおける人材確保対策の取組

～医療（看護）・福祉（介護・保育）・建設・警備・運輸等分野～

○都内7所（渋谷・池袋・足立・墨田・木場・八王子・立川）に人材確保支援の総合専門窓口を設置。

- ・求職者に対する担当制によるきめ細やかな職業相談と職業紹介
- ・求人事業所における経営理念や入職後のキャリアパス、働く人の声などの詳細な情報提供によるマッチング強化
- ・求人者に対しては、求職者ニーズを反映した、よりマッチング機会の高まる求人票の書き方のアドバイスや企業・業界のPRなどを実施
- ・事業所の見学と面接をセットにした「ツアー型面接会」の実施
- ・職場体験講習、各種セミナーや見学会の開催

【人材確保・就職支援コーナー風景】



【ツアー型面接会風景】



【支援対象者】

人手不足分野への就職を希望している

仕事に関心があるが、経験・資格がなくて出来るのか不安

人手不足分野の仕事にブランクがあるけど再就職したい

まずは人手不足分野関係の資格をとりたい！

人手不足分野関係職種の内容について知りたい

求職者が希望する求人条件や分かりやすい求人票の作成について相談したい

■令和3年度 人材確保対策推進事業の取組状況

■求職者向けセミナー
実施回数186回
参加者2,638人

■事業所見学会
実施回数26回
参加者182人、33事業所

■就職面接会

実施回数533回、参加者4,451人、1,296事業所

うち医療・福祉分野

376回、3,660人、1,111事業所

※うち保育 91回、159人、44事業所

うち建設分野
44回、159人、44事業所

うち警備分野
57回、307人、59事業所

うち運輸分野
56回、325人、82事業所

令和3年度 都内ハローワーク
紹介で人材不足分野
の職業に14,846人の
方が就職しました。

（介護5,299人、看護1,649人、保育936人、
建設1,871人、警備2,044人、運輸3,047人）

※人材確保・就職支援コーナーを含む都内ハローワークの実績です。

【事例A】

経験の浅い28歳介護希望者を チームワークで支援！

28歳女性／希望職種：介護職

土日休みのデイサービスを希望。
本人の意思もあり他職種も選択肢のひとつとして検討。

背景と課題

- ✓ 前職は、地方から上京して東京の土地勘がないまま就職、通勤やシフト勤務で体調不良で退職。
- ✓ 高齢者介護が好きであることを実感しているものの、条件と仕事内容で葛藤している。
- ✓ 譲りたくない条件となる土日休みのデイサービスは求人が少ない。
- ✓ 障害者施設の求人に応募するも、特養以外の経験がなく不調が続き、自信喪失。
- ✓ 仕事経験の幅が狭く、地理情報、施設情報が不足している。

支援の経過

- まずは、介護施設及び障害者施設の違いや業務内容など、それぞれの施設についての情報提供を丁寧に行った。
- また、休日・場所・仕事内容など希望条件の優先順位を決め、これまで経験した高齢者介護と、現在検討しているデイサービスの主な業務内容を比較するとともに、レクリエーションの実施・企画、送迎等、経験があり共通する職務の棚卸しを行った。
- その中で、障害者支援より高齢者支援に魅力を感じ、気持ちも強いことを確認。
- 面談の中で、本人の状況や能力、要望等を把握し、公開中の求人情報に限らず同コーナーの全職員とも情報を共有、情報収集に努めた。
- 特に求人の相談に来所された高齢者介護事業所の中で、通勤範囲内、土日休みなどの条件を踏まえ、本人との面談の機会を検討してもらえる事業所を探した。
- その後面談可能な事業所が見つかり本人に提案し、応募となった。
- 最終的には、面接等の中で条件等を確認、双方合意のうえ採用に至った。

結果

当初は他職種も検討していたが、高齢者介護が好きという気持ちを大切にチームで情報共有し、フォローした結果、希望の就職に至る。求人者にとっても、一部条件を緩和することで良い人材の確保につながった事案で、求職者・求人者双方が満足する結果となった。

【事例B】

ターニングポイントでの支援、 年齢の壁を乗り越え就職！

52歳女性／希望職種：准看護師

埼玉県内の看護学校へ通学。
臨床経験は自宅（都内）近くの病院を希望。

背景と課題

- ✓ 前職は様々な職場で介護職を約10年経験、介護福祉士資格を所持。
- ✓ 介護支援専門員(居宅・正社員)として約5年勤務後、准看護師を目指す。
- ✓ 看護学校に2年通学、国試受験後自己採点では合格ラインとのこと。
- ✓ 介護職や介護支援専門員を合わせて15年の経験を生かし、将来的には准看護師として高齢者施設で働きたいと考えている。
- ✓ 埼玉県内の看護学校へ通学、臨床経験は自宅（都内）近くの病院を希望。
- ✓ 学校から紹介される就職先は埼玉県が多く条件が合わない。
- ✓ 年齢52歳でのスタートであり、コロナ禍で学校の病院実習も少なく不安を抱えている。
- ✓ まずは新人教育をしてくれる病院で看護の経験を積む必要がある。

支援の経過

- 自宅に近い病院での求人は即戦力を求めるものが多く、実務経験が必要で応募できる求人が少ない中、病院の療養病棟の求人をピックアップ。1件面接に至るものの経験者が優先となって不調に終わる。
- 少し落ち込み不安になるが、面談の中で励ましながら再度求人をピックアップ。
- ピックアップした求人の中に、以前本人が自ら、看護学校を卒業後応募ができるか問い合わせを行い、断られたという病院の求人募集が出ていたため、改めて職員が問い合わせた。（自宅から近いが実務経験が必要な求人）
- 採用担当者は、最初は新人教育は難しいとの話であったが、介護職経験や自宅が近いこと、真面目で意欲的であることなどを伝えると、会ってもらえることとなった。
- 応募後すぐに面接となり、本人の熱意が伝わり採用が内定した。
- その後准看護師の試験にも無事合格し、准看護師として頑張りますと本人からのうれしい報告があった。

結果

本人の希望通り、自宅から近い病院の療養病棟に准看護師（正社員）として採用となる。
看護経験を積み最終目標に向かって前進している。

YouTube



Instagram



人材確保対策
～東京ハローワーク～【公式】